

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第378号	
事故等種類	火災	
発生日時	平成21年10月29日 04時30分ごろ	
発生場所	石川県志賀町の富来漁港の給油用岸壁 (概位 北緯37°08.6′ 東経136°41.9′)	
事故等調査の経過	平成21年12月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第2三喜丸、6.6トン	
船舶番号、船舶所有者等	IK2-5556（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	主機過給機ケーシング及び機関室の電路などが焼損	
事故等の経過	<p>本船は、燃料油（以下「FO」という。）を給油するため富来漁港の専用の岸壁に赴き、主機を運転した状態でFOを給油していたところ、岸壁の直ぐ近くを僚船が航行して船体が上下に大きく動揺し、給油ホースの先端が給油口から抜け外れてFOが噴出し、機関室に降り注いで火災が発生した。</p> <p>本船は、直ちに岸壁の水道栓で消火された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：穏やか（港内）</p>	
その他の事項	<p>給油していたFOは軽油であった。</p> <p>本船の燃料タンクは、機関室の両舷に配置されており、給油ホースを甲板上の設けた給油口に差し込んで給油されるようになっており、給油ホースは固定されていなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	<p>本船は、富来漁港の岸壁において給油中、港内を僚船が航行して航走波が発生し、上下に大きく動揺したものと考えられる。</p> <p>本船は、動揺により固定していなかった給油ホースの先端が給油口から抜けて外れ、FOが噴出して機関室に降り注いだものと考えられる。</p> <p>機関室に降り注いだFOは、主機の過給機及び排気管等の高温部に降りかかり、発火した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、富来漁港の岸壁で給油中、僚船の航走波を受けて船体が上下に大きく動揺し、給油ホースが給油口から抜けて外れたため、FOが噴出して主機の過給機及び排気管等の高温部に降りかかり、発火した</p>	

	ことにより発生した可能性があると考えられる。
--	------------------------